

カノンから見る 西洋近代

文学と国民国家

【公開シンポジウム】

● 発表者 ●

玉田 敦子

(フランス文学 / 中部大学)

「古典からカノンへ — 18 世紀フランス修辞学とアカデミー・フランセーズにおける文学の正統化」

小倉 孝誠

(フランス文学 / 慶應義塾大学)

「フランス第三共和政における文学史の成立とカノン」

原田 範行

(イギリス文学 / 慶應義塾大学)

「イギリス文学史誕生秘話 — 出版、インド、「学問的」方法」

村松 真理子

(イタリア文学 / 東京大学)

「カノンが境界を越えるとき — ベトラルキズモと『神曲』のモデル」

川島 隆

(ドイツ文学 / 京都大学)

「マルリットからシュペーリへ — 19 世紀ドイツ家庭小説における「恋愛」と「結婚」の価値」

中村 唯史

(ロシア文学 / 京都大学)

「ナショナルなカノンの成立まで — 19 世紀ロシア文学におけるアダプテーションと起源の忘却」

● コメンテーター ●

秋草 俊一郎

(比較文学 / 日本大学)

● 司会 ●

野田 農

(フランス文学 / 早稲田大学)

石川 大智

(イギリス文学 / 慶應義塾大学)

霜田 洋祐

(イタリア文学 / 京都大学)

西尾 宇広

(ドイツ文学 / 慶應義塾大学)

2026 年 1 月 31 日 [土]

10:30 - 18:15

慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎 1 階

シンポジウム・スペース

対面 + zoom 開催 (参加無料)

■ 事前申込の方には zoom アドレスをご案内します。2026 年 1 月 24 日 (土) までに下記フォームよりお申込みください：

<https://forms.gle/c76HxwGftrBk6orQ6>

■ 対面参加は事前申込なしでも可能ですが、できるかぎり事前申込にご協力ください。



主催：リアリズム文学研究会 + 科学研究費(基盤 C:23K00447)「西洋近代文学の〈リアリズムの文法〉に関する語圏横断的アプローチによる実証的研究」
協賛：科学研究費(基盤 B:24K00052)「文学による国家創造のプロジェクト：フランス近代における文学教育と国民形成」
お問い合わせ：リアリズム文学研究会事務局 (realisminlit@gmail.com)



- 参加希望の方は、本チラシ表面記載のフォームよりお申込みください（2026年1月24日〔土〕締切）。折り返し受理確認のメールが自動送信されます。
- 対面参加の方も含め、事前申し込いただいた方にはzoom ミーティング情報・各種資料・パスワード等を、フォームにご記入いただいたメールアドレス宛てに、研究会事務局より、開催前日までにお送りします。
- zoom ミーティング情報等が不特定多数へ流出しないよう、情報の取り扱いにはくれぐれもご注意ください。



〔プログラム〕

10:30 - 10:40 《趣旨説明・総合司会》野田 農（フランス文学）

◆ セッションⅠ 《司会》 霜田 洋祐（イタリア文学）

10:40 - 11:10 玉田 敦子（フランス文学）

「古典からカノンへ」
— 18世紀フランス修辞学とアカデミー・フランセーズにおける文学の正統化

11:15 - 11:45 小倉 孝誠（フランス文学）

「フランス第三共和政における文学史の成立とカノン」

11:50 - 12:10 ラウンドテーブル

◆ セッションⅡ 《司会》 石川 大智（イギリス文学）

13:15 - 13:45 原田 範行（イギリス文学）

「イギリス文学史誕生秘話 — 出版、インド、「学問的」手法」

13:50 - 14:20 村松 真理子（イタリア文学）

「カノンが境界を越えるとき — ペトラルキズモと『神曲』のモデル」

14:25 - 14:45 ラウンドテーブル

◆ セッションⅢ 《司会》 西尾 宇広（ドイツ文学）

15:00 - 15:30 川島 隆（ドイツ文学）

「マルリットからシュペーリへ」
— 19世紀ドイツ家庭小説における「恋愛」と「結婚」の価値

15:35 - 16:05 中村 唯史（ロシア文学）

「ナショナルなカノンの成立まで」
— 19世紀ロシア文学におけるアダプテーションと起源の忘却

16:10 - 16:30 ラウンドテーブル

◆ セッションⅣ 《司会》 秋草 俊一郎（比較文学）

16:45 - 17:15 《コメント》 秋草 俊一郎（比較文学）

17:15 - 18:15 【全体討論】



慶應義塾大学 日吉キャンパス

❖ 交通アクセス ❖



表絵：Carl Spitzweg, *Der Bücherwurm* (ca. 1850)

裏絵：Bela Čikoš Sesija, *Homer uči Dantea, Shakespearea i Goethea pjevati* (1909)

Albert Anker, *Eine Gotthelf-Leserin* (1884)